

俳句の創作活動

～本と ICT 両方を使って～

高校 1年 国語 言語文化

「表現を楽しむ」

資料の活用、教科・領域での活用

ねらい

- 日本の伝統文化である俳句の世界に触れ語感を磨き語彙を豊かにする。
- 個々の作品世界の創作を通じて、表現の楽しさを主体的に味わう。

学習展開

- ① 前年度までの入賞作品を例として提示する。
 - ・司書教諭はホワイトボードに提示・解説
 - ・学校司書は「お〜いお茶新俳句大賞」サイト（プロジェクター投影）と作品集冊子を紹介
- ② 司書教諭による受賞傾向の考察、創作のポイントなど解説。
- ③ 学校司書による俳句関連資料、特設コーナー、季語が調べられるサイトの紹介。
- ④ 生徒は自由に本を探す／Chromebook で検索する（自由に選択できるようにする）。
- ⑤ 生徒は各情報を参考にしながら俳句を創作。
- ⑥ 学校司書は生徒個別に資料相談を行う。
- ⑦ 司書教諭は創作のアドバイス・指導を行う。



本と ICT を使って説明（司書教諭・学校司書）



生徒は本と Chromebook 両方を活用

司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭は授業の計画段階から「生徒がどのような資料を使うか」「図書館の ICT・ホワイトボードなどの環境をどうするか」など、学校司書に相談しながら図書館環境を計画した。
- 学校司書は当日の流れを確認し、「どの資料を何分くらい学校司書が説明するか」「サイトの内容でどの部分を重点とするか」など、細かいポイントを司書教諭に確認し、各資料を準備した。

指導のポイント

- 1学期に俳句の創作活動を行い、すでに経験を積んでいることから、今回は過去の受賞作の傾向を考察するようにした。
- 「意図して詠む」ことを意識しつつ、本や信頼性の高いサイトを活用し、個々の世界や言葉を吟味し、表現する楽しみが体験できるようにした。

資料

- ① NPO 法人きごさい『きごさい歳時記』 <https://kigosai.sub.jp/>
- ② 伊藤園『お〜いお茶新俳句大賞』 <https://itoen-shinhaiku.jp/>
- ③ 『先生と子どもたちが詠んだ学校俳句歳時記』
(星野高士ほか／監修 角川書店 2024)
- ④ 『基礎からわかるはじめての俳句 増補改訂版』(上野貴子／著 メイツ出版 2024)